

NEWS

4

ほっと de ホット



特定非営利活動法人「ほっとハウス」会報

寒中お見舞い申し上げます。

NPO ホットハウスとして認証されて早いもので満3年が経ちました。

この一年も、コロナの世界的な流行の為にパンは注文販売を続け、マスクの着用は基より三密を避けて昼食をとったり、と方法を考えながら細々ではありますが、ボランティアさん達の協力を得て作業を継続出来たことを感謝しています。

お客様にも弥富市役所、学校関係にもご協力をいただきまして休業することなく

この一年を過ごすことができました。

本当にありがとうございました。

代表理事 越智 知子

最近の作業生達の生活



いつもニコニコ太田親子

越智 課長・・・ 昨年12月17日 大垣市

「ジャスト ワンナイト コンサート」

20周年コンサートに出演。

コロナ禍で去年も大きなビニールの幕の中で演奏しました。主に映画音楽のテーマ曲を弾きました。

太田 係長・・・ リコーダ演奏の得意な係長は、いつも課長とのアンサンブルを楽しんでいます。大垣市にも、もちろん参加。

大口 主任・・・ コロナ禍で、近鉄に乗れないので自主通勤が出来ない日が続きましたが先日、思い切って帰り近鉄に乗りました。

渡辺さん …… パン作りを楽しんでいます。ハムロールはとてもし上手になりましたピザの台を作ったり卵塗りを気を入れてやっています。

「奈良からミキサーがきました。」

ほっとハウスのパン、クッキーの生地を作るミキサーは、
25年前に名古屋市のパン製造をしていた施設からいただきました。
当時から中古品であり、私達の所には三代目のミキサーとして
ご縁があったのです。本当に古いのですが、ずっと丈夫で長持ち
してくれていて、現在も活躍しています。

奈良県の「ダウン症の会」の発足の時や市の学校でのコンサートで
知人となった人から突然お知らせがあって、閉店のためパン製造の
器具等をもって下さい。と連絡があり、さっそく奈良まで出向き
ました。その御主人は、夜11時から翌日の朝10時まで、一人で多種
のパンを作っておられるとのこと。

まず、びっくりしました。
ほっとハウスでは考えられない現状
でしたが、翌朝から売り出すには、
その時間に焼かねばなりません。
店員さん、お一人で何年も続ける
ことは本当に大変なご苦労があった
と思いました。

パンに関わる機械は多くあって、
全部見せていただきましたが、
オーブンもホイロ（発酵機）も
特別製で、ほっとハウスには入ら
ない様なサイズばかりでしたが、このフランス製のミキサーはまだ
新しくなんとか置けそうなので、いただくことになりました。
昨年11月末に愛知に運送してもらい、津島市の工場メンテナンス
終了後、12月26日に、やっとほっとハウスに落ち着きました。
現在は生地作りのテストを重ねております。
仕上げに自信をもつまで十分に練習を重ね、皆さまに美味しい生地
だと言っていただけの様にデビューを目指しています。





{秋の歩け歩け運動}

11月の中旬に三重県いなべ市の「いなべ公園」に金曜日のボランティアさん等と行ってきました。

当日は、快晴に恵まれて、約3時間ゆっくりと歩くことが出来ました。コロナ禍での、この一日は本当に清らかな気持ちで秋の風景を楽しむことが出来ました。



この度、「新潮社」より本を出すことになりました。私にとっては2冊目なのですが、今まで我が人生がどれ程、多くの人達に助けられていたかを思い感謝の気持ちで微力ながら、心を込めて書きました。私の人生ですが大半は章仁の事になってしまいます。ほっとハウスの起ち上げまでのストーリー等を是非賛助会員の皆様には読んでいただきたく、3月末までには完成の予定なので、贈呈させていただこうと思っています。尚、この写真は13年前の東京コンサートのプログラムの表紙として撮影されたもので、この時のカメラマンは、今年とても注目されている「どうする家康」のタイトルデザイナーである菱川勢一氏で、昨年この本の表紙として題名もデザインしてくださいました。御多忙の中、インパクトのあるデザインを創って下さりありがたく思っています。内容は、私の若いころの失敗談や夫との死別、子供の誕生等と平均的には読みやすいものになっていると思います。



賛助会費をいつも有難うございます。

郵便振替 一口 2,000円(何口でも)
ゆうちょ銀行弥富支店 当座預金
口座番号 00860-9-155212
加入者名 ほっとハウス

〒490-1415 弥富市鮫ヶ地1-113 電話0567-52-3438